

講義ユニット名	小児外科	所属科目名	全身性疾患制御学
講義ユニット 責任者	ひやま えいそう 檜山 英三	所属	自然科学研究支援開発センター (内線 5951)
		メール	eiso@hiroshima-u.ac.jp
講義ユニット コーディネーター	うえだ ゆうか 上田 祐華	所属	小児外科 (内線 5217)
		メール	ueda0830@hiroshima-u.ac.jp
授業方法	講義形式。パワーポイントを使用して、スライドを呈示しながら進める。		
概要	新生児、乳児、小児期に特有の外科的疾患、とくに、先天奇形、乳児以降の一般的 外科疾患（腸重積、鼠径ヘルニア、虫垂炎）、胆道系疾患、悪性腫瘍について、疾患 を理解し、手術適応と手術法の概略を習得する		
講義ユニットの 到達目標	<p>新生児、乳児、幼児、学童の周術期管理について説明できる。</p> <p>新生児外科疾患と周産期管理について理解する。</p> <p>新生児重症外科疾患（食道閉鎖、横隔膜ヘルニア、腹壁異常）の対応法を説明できる。</p> <p>新生児消化器疾患（腸閉鎖、腸回転異常症、ヒルシュスプルング病）を説明できる。</p> <p>直腸肛門奇形の診断、分類と治療を説明できる。</p> <p>胆道閉鎖症、胆道拡張症の病因、症候、診断と治療を説明できる。</p> <p>腸重積症の発症機序、症候と治療を説明できる。</p> <p>鼠径ヘルニア、臍ヘルニアの発症機序、症候と治療を説明できる。</p> <p>虫垂炎の発症機序、症候と治療を説明できる。</p> <p>小児水腎症の病因、症候、診断と治療を説明できる。</p> <p>膀胱尿管逆流の病因、症候と診断を説明できる。</p> <p>胃食道逆流の病因、症候と診断を説明できる。</p> <p>小児外科的悪性腫瘍（神経芽腫、腎芽腫、肝芽腫）の症候と外科的治療の位置づけを を説明できる。</p>		
講義日程	別紙日程表を参照のこと		
出席の取り扱い	講義終了後に15分の小テストを行う。 試験開始後の入退室は認めない。		
評価項目	到達目標の達成度 (基本的理解と知識の応用)		
評価法	MCQ形式にて試験を行う。 本試験における合格基準は60点とする。		
推奨参考書	【その他、学習に有用な参考書等】 標準小児外科学		